

令和2年度 経済環境委員会 視察研修報告書

1. 視察日程 令和3年1月14日(木)

2. 視察先及び視察事項

(1) 富士山エコパーク

(2) 夏刈南部工業団地

(3) 団地間連絡道路及び新東名高速道路御殿場地先視察

3. 参加者

委員長	杉山 護			
副委員長	辻川 公子			
委員	林 義浩	芹沢 修治	高橋 靖銘	
	永井 誠一	田代 耕一		
事務局	田代 こず江			
事務局	渡邊 一二司			

4. 視察先対応者

富士山エコパーク 御殿場市・小山町広域行政組合 資源循環課

夏刈南工業団地 御殿場市都市建設部

団地間道路、新東名御殿場地先 御殿場市都市建設部、ネクスコ中日本職員

5. 視察内容

■ 『富士山エコパーク』 について』

《視察研修の目的》

- 1) 御殿場、小山広域行政組合に於ける可燃物の処理の実態
- 2) 搬入、焼却及び灰処理設備に至る流れと制御設備見学
- 3) 発電システムと売電について

《視察先の概要》

富士山エコパーク焼却センターは、自然環境に配慮した循環型社会を目指した施設で御殿場市板妻に位置し平成 27 年 7 月 3 月稼働開始。
焼却設備と致しまして全連続式ストカ炉で能力は一日 143 ト(71.5 t / 24h x 2 炉)
発電設備も兼ね備え、蒸気タービン発電機一基 (出力 2,500 k w)。

《視察内容》

研修所にて担当者よりセンター内の説明を受けた。受け入れ供給設備、焼却設備、燃焼ガス冷却設備、発電設備、通風設備、灰出設備、排水処理設備、計装制御装置の全体の設備と流れについての説明と能力についての報告後グループにて現場の視察を行った。

《考 察》

発電電力を自前で使用し関連施設で電力を使用しているが現在の余剰分は日立造船に売電している。このように、ごみを処分することにより、エネルギーを作成し発電して売電と循環型社会を構築している点は素晴らしく今後はもっと効率良い社会を目指していただきたい。

■ 『夏刈南部工業団地

について』

《視察研修の目的》

御殿場市原里に展開している工業団地で、開発面積は4,8ヘクタールの売却予定の2区画の現地見学。

《視察先の概要》

夏刈南工業団地は、御殿場市原里に位置し、今回の開発は4,8ヘクタールで2区画の分譲である。地域全体からするとほんの一部で（全体は約50ヘクタール）ある。交通アクセスに於いても問題はない。

《視察内容》

現地にて工事状況、土地の面積、進出企業の説明を職員より受けた。区画は2区画であり、区画Aは21,411㎡で水処理（配管製造関係）の北海建設工業の進出が決定しているとの事。従業員は、50人程度である。区画Bは20,361㎡で進出企業は決定には至っていないが問い合わせは複数件ある。

《考 察》

夏刈南工業団地は、他にもこれから開発されるであろう土地はあり、今後の御殿場市を考えると、原里地区は工業用地として、企業の進出、雇用の拡大が望める地域である。

■ 『団地間道路及び新東名御殿場地先 について』

《視察研修の目的》

令和4年3月完成予定の団地間道路の現状確認のため、その一部である板妻地区から印野地区に至る約3kmの試走を実施した。又、新東名高速道路については駒門—水土野 IC 間（令和3年3月完成予定）の工事状況を NCXCO 中日本の配慮にて工事現場の見学を行った。

《視察先の概要》

団地間道路は東富士演習場の外周道路であり、サイクリング道路（側道）を兼ね備えている。また道路沿いには桜を植栽しており今後は、桜並木として一大名称として期待できる。新東名は、水土野に御殿場市では二つ目のインターチェンジが建設され、国道138号バイパスとも接続され、山梨方面へのアクセスも容易となる。

《視察内容》

実際に現地において、担当者より説明を受け、大変参考になりました。団地間道路は御殿場市の外周道路として今後の活用に期待できる。。
新東名高速道路は道路内に凍結防止用の電気配線が施されて安全確保が図られていた。また高架橋のため、富士山をはじめとして素晴らしい眺望に恵まれていた。

《考 察》

団地間道路、新東名高速道路ともに完成の暁には、御殿場市にとっては、大きな財産となり、住みやすさランキングに貢献される。